



学校だより

横浜市立朝比奈小学校

令和2年12月24日

第11号



「元気になってよかったね。一緒に遊ぼう」

校長 神田 敏之

人権週間に合わせて朝会で「学級の中で感染した人が出て、戻ってきた時にどのような行動をとるか、どのような声掛けをするのかを考えましょう」という話をしました。そして学級で考えを書く時間を取りました。一人ひとりが自分の問題として受け止め、感染症を正しく知り、誤った情報に惑わされず、人の立場に立って考え行動することが大切です。感染症が広がっている今年だからこそ人権週間に取り上げることにしました。自分の考えを書くことにより、人権を大切にするという意識をもてるのがねらいです。

- 戻ってきてくれて、嬉しいな。
- なおってよかったね。
- かわらずにいっしょにべんきょうする。
- 学校での出来事を話す。
- あえて言葉をかけずに普段と同じようにふるまう。
- 自分が相手を避けていないと感じてもらえるあたたかい言葉をかける。
- 必要以上に感染症のことについて話さない。
- わざと感染したわけではないから、励ましてあげると安心すると思う。
- コロナが増えてきて、近くでも話を聞くようになってきたので、「少し怖いな」と感じていたけど、校長先生の話聞いて、「自分のことだけじゃなく、感染してしまった人たちのことを応援しよう!」と感ずることができた。
- いくら感染対策をしてもかかる可能性があり、自分の身近な人もかかる可能性があるため、もしかかったときには相手の心を傷つけず、元気になるような言葉をかけてあげたいと思う。

本校で取り組んでいるリーダー・イン・ミーに、「影響の輪」と「関心の輪」という話があります。自分がコントロールできない「関心の輪」にとらわれすぎず、自分でコントロールできる「影響の輪」に目を向けていきましょうということです。「新型コロナウイルス感染症になったらどうしよう」とコントロールできないことで不安になるのではなく、自分にできる手洗いをする、マスクをするということをしっかりすればよいと考えていましょうという話もしました。

人権を大切にすることは、誰もが安心して過ごせるということ。知らずに人を傷つけてしまった時には、心から謝罪する。いじめなど人を傷つける場面を見かけた時には、「やめようよ」とおかしいと思うことに対して声を出す。普段の生活からあいさつや気持ちのよい言葉かけをすることなどいろいろな側面から子どもたちの意識を高めています。自他を大切にすることの育成へのご協力を今後ともよろしくお願いいたします。